



子孫のために、借金を遺す。

西郷隆盛は言いました。「兒孫のために、美田を買わず」。

人間は多くの辛酸を舐めてこそ成長することができる、

下手に財産を遺すのは子孫のためにならないとの遺訓です。

なるほど日本がいま抱える膨大な借金にしても、

その返済は次の世代を大いに鍛え、たくましくしてくれるはず。

借金を負の遺産としてただ嘆くのではなく、将来につながる

正の遺産として活かす。そんなしたたかな国になりたいものです。

宝島社